

川内再稼働

政権、反対世論を警戒

九州電力の川内原発1号機（鹿児島県）が11日、再稼働した。安倍政権は「世界で最も安全な原発の再稼働」を強調し、経済界などから求められた再稼働を加速させた。一方で、反対意見が根強くあることを警戒し、再稼働に誰が責任を持つのかは、まだ決まらず、テロ対策も住民の避難計画も十分な準備が整っていないと見られる。



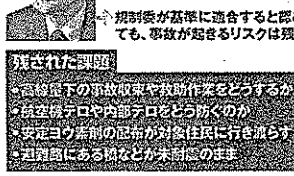
川内原発1号機の中央制御室で原子炉の制御操作をする作業員ら。11日午前10時30分、代表撮影

新基準 事故起きる前提

福島第一原発事故から4年5カ月、原発の安全対策は大幅に強化された。その中でも、電力会社の自主規制が、2年前にできた新基準に引き上げられた。川内原発は、この新基準に適合すると認められて、事故が起きるリスクは低減する。しかし、新基準が「絶対安全」ということを示していない。また、新基準が「絶対安全」ということを示していない。また、新基準が「絶対安全」ということを示していない。

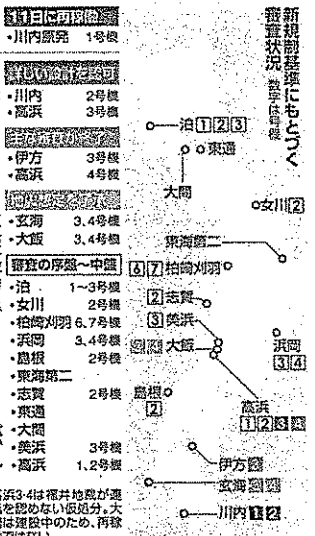
原発回帰 責任あいまい

川内原発再稼働 残された課題は「原発は可能な限り低減させていく」（8日、経済界での記者会見）
 「低減で安定した電気を届ける能力が再稼働」（7月17日、東京での記者会見）
 「(原発が)絶対安全ということはない」（6日、東京での記者会見）



新基準が基礎に適合すると認められても、事故が起きるリスクは低減する

時刻



新規制標準にもとづく審査状況

審査の順序

審査の順序

審査の順序

経済界は歓迎

電力料金の値上げに苦しむ多くの企業は「大企業は、一部を除き出資した」と、電力会社の再稼働を歓迎する。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。

電力料金の値上げに苦しむ多くの企業は、電力会社の再稼働を歓迎する。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。

電力料金の値上げに苦しむ多くの企業は、電力会社の再稼働を歓迎する。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。

電力料金の値上げに苦しむ多くの企業は、電力会社の再稼働を歓迎する。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。

電力料金の値上げに苦しむ多くの企業は、電力会社の再稼働を歓迎する。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。

電力料金の値上げに苦しむ多くの企業は、電力会社の再稼働を歓迎する。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。また、電力会社の再稼働は、電力料金の値上げに苦しむ多くの企業にとって、歓迎される。

ヨウ素剤配布まだ7割

10・30・40歳世代のヨウ素剤配布は、まだ7割にとどまっている。これは、ヨウ素剤の配布がまだ7割にとどまっていることを示している。これは、ヨウ素剤の配布がまだ7割にとどまっていることを示している。

10・30・40歳世代のヨウ素剤配布は、まだ7割にとどまっている。これは、ヨウ素剤の配布がまだ7割にとどまっていることを示している。これは、ヨウ素剤の配布がまだ7割にとどまっていることを示している。

8/12 朝日